

第47回 教育機関DXシンポジウム

「大学等におけるオンライン教育とデジタル変革に関するサイバーシンポジウム」

情報技術を活用すると大学運営はこう変わる ミネルバ大学の事例紹介

2022年3月4日

AMS合同会社 山本秀樹

自己紹介



約20年、高機能化学素材産業の新規用途開拓に従事。

2015年～2017年までミネルバ大学の日本での認知活動を担当。

ミネルバ大学の教育のエッセンスをさまざまな分野に応用するため、Dream Project Schoolを立ち上げ、現在に至る。

清泉女子大学 地球市民学科 顧問

第一学院高等学校 顧問

新潟産業大学 経済経営学部 通信制過程 顧問

ビジネスブレイクスルー大学、京都大学などで非常勤講師を務める

堅い経歴は、www.hyamamoto.com

半生記は、<https://an-life.jp/article/1310> をご参照。

本日の流れ

- ミネルバ大学の概要
- ミネルバ大学における情報技術の活用事例
 - 学生募集・入試
 - 授業設計・教授法
 - キャリア構築支援



ミネルバ大学（Minerva University）の概要

- 2014年、クレアumont大学コンソーシアムのケック大学院大学（KGI）とミネルバ・プロジェクト社の合併事業として、同大学院傘下に **Minerva Schools at KGI**として開校（インキュベーション方式）
- 2021年、WASCより独立校としての認可を取得し、**Minerva University**に名称変更。
- **主な特徴：**
 - 広報/入試/学習/キャリア構築支援まで徹底した情報技術の活用
 - 幅広い学問分野や実生活に応用できる汎用的能力を育むカリキュラム
 - 世界7カ国に滞在、生活/プロジェクトを通じた異文化没入経験

ミネルバ・プロジェクト社の“目的”

“Nurturing Critical Wisdom for the Sake of the World.”

その第1段階としての“高等教育の再創造”

高等教育を最新技術を用いて、“本来あるべき姿”に戻す。

ミネルバ大学はベンチマークとして他大学の模範となる存在であり続けることを目指している。

本日の流れ

- ミネルバ大学の概要
- ミネルバ大学における情報技術の活用事例
 - 学生募集・入試
 - 授業設計・教授法
 - キャリア構築支援

効率的で効果の高い広報/マーケティング活動

非効率な宣伝活動の廃止

- 紙媒体への広告を一切行わない
- 招聘されない学校訪問はしない

信頼できる情報発信源を選び、提携する

- 主催者が積極的に情報を拡散するシンポジウムへ参加
- 理念を共有する団体を通じたインターネット上のキャンペーン
- インターネットでの取材・記事を優先的に選択

自社サイトで学生のプロフィールに合った情報を提供する

- 自主制作の動画/記事をSNSで配信
- 学生のプロフィールに合わせたニュース記事の配信

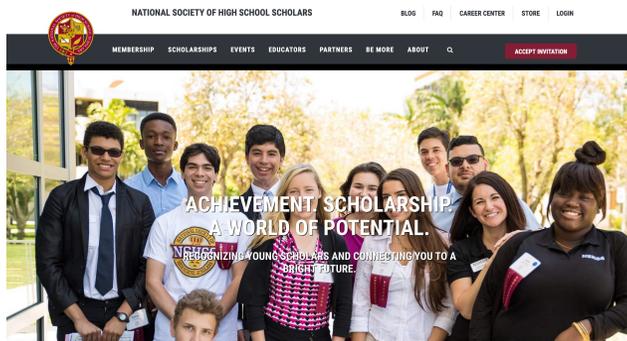
学生のペルソナに合わせたメッセージ配信

公立高校教職員支援団体

国際バカロレア機構

ギャップイヤー推進団体

提携団体



配信
メッセージ

教育機会の平等
高等教育の再創造

異文化没入機会
国際理解

自律を育むカリキュラム
旅する学校

世界中から“才能x努力の人”を低コストで見つけ、 自分達が伸ばせると考える人だけを選ぶための入試

一般的な大学入試（米国大学）

- 共通テスト（SAT/TOEFLなど）
- 事前課題型エッセイ
- 推薦状
- 学校の成績
- 独自の選考
- 面接
- 入学審査料
- 入学前のデポジット



ミネルバ大学

世界中から“才能x努力の人”を低コストで見つけ、 自分達が伸ばせると考える人だけを選ぶための入試

一般的な大学入試（米国大学）

- ~~共通テスト（SAT/TOEFLなど）~~
- ~~事前課題型エッセイ~~
- ~~推薦状~~
- 学校の成績
- 独自の選考
- ~~面接~~
- ~~入学審査料~~
- ~~入学前のデポジット~~



ミネルバ大学

- 学校成績
- 独自の能力審査
- 入学審査料無料
- 合否ラインの学生の個別フォロー
- 入学前のデポジット不要
- 合格者向け学習体験会（SF）
- **全てオンライン、One Stopで完結**

学生のベストな状態を詳細に分析する入試

- 8月初旬～翌年3月中旬までの審査受付（3回の締切）
- 学生は好きなタイミングで始め、途中で中断、再開もできる
※ただし能力テストの実施中は中断不可
- 合否ライン上の受験生には追加質問を実施、締切後も受付

ミネルバ大学における授業

オンライン学習

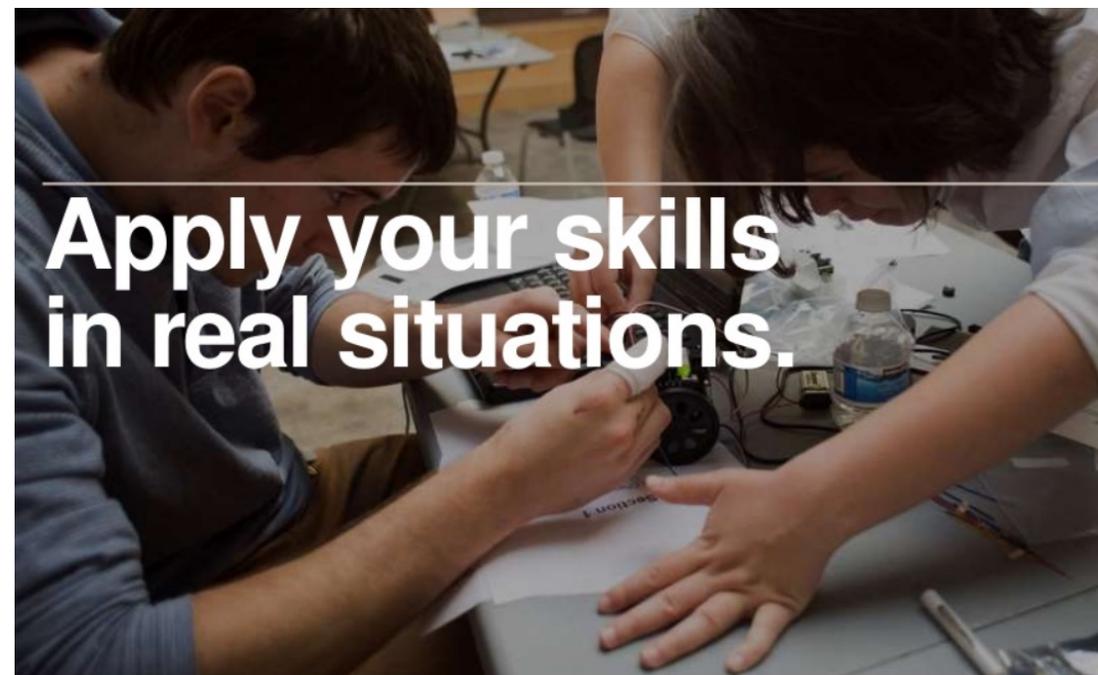
(反転学習/ディスカッション)



X

プロジェクト学習

(学外での実践)

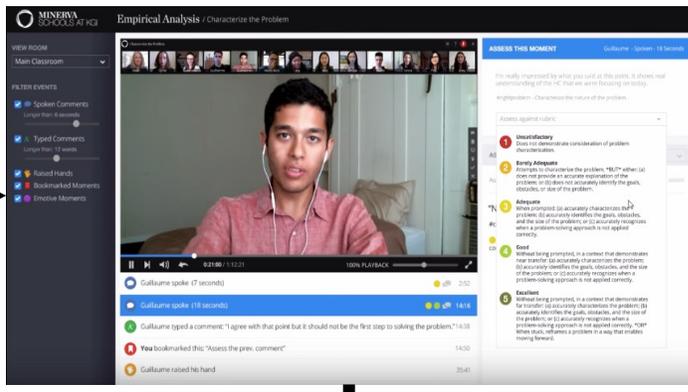
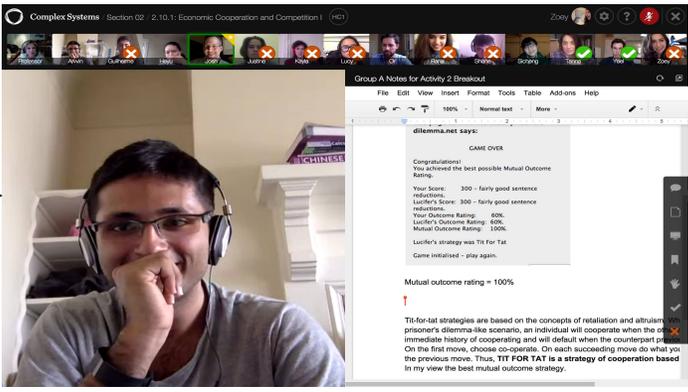
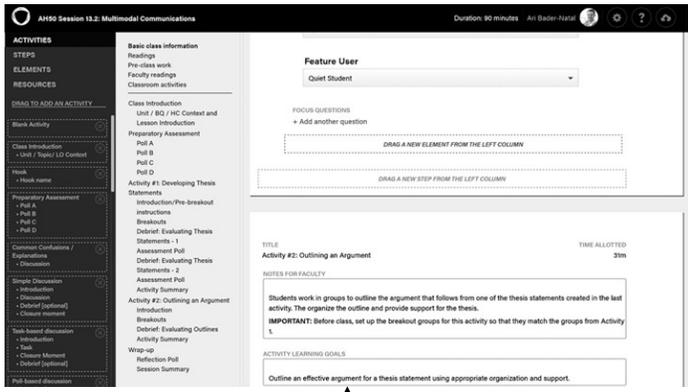


授業設計 → 授業 → フィードバック → 効果分析 までカバーした学習支援アプリケーション

① 授業設計

② 講義しない授業

③ 綿密なフィードバック



④ 学生の習熟度分析
(科目の枠を超えた教員間での共有)

出典：「Building The Intentional University : Minerva and the future of higher education」 (MIT Press 2017)
「Active Learning Forum」 (Minerva Schools Youtube Channel)

データ分析による学習の質の向上

理解度の把握

定期テストではなく、毎回の事前課題・授業中の発言・作業内容を評価

指導方法の把握

教員の授業運営、フィードバック内容を記録、その効果を分析

授業設計への反映

- 学習目的の達成状況を教科の枠を超えて、教職員間で共有
- データを見ながら、週次で、向こう3週間の授業計画を再設計

さまざまな外部組織との連携により、学生の能力に合ったプロジェクト学習機会を提供できる



Advertising
Goodby Silverstein & Partners



Micro-Lending
Kiva.org



Crowdfunding
Indiegogo



Scientific Research
California Academy of Sciences



Performing Arts
San Francisco Opera



Robotics
Techshop

ミネルバ大学の4年間の流れ（カリキュラム骨子）

1年目

学び方を学ぶ

汎用能力

- 批判的思考力
- 創造的思考力
- 情報発信力
- 関係構築力

2年目

方向を探る

専門課程の基礎

- 社会科学
- 自然科学
- 計算科学
- 人文科学
- 経営学

3年目

学びとキャリアを探究・合成する

探究研究（Capstone Project）

- 専門課程の応用
- 選択科目

4年目

- チュートリアル
- 選択科目

出典：Minerva University ウェブサイトより山本作成

注：1年目の科目は、Formal Analysis、Empirical Analysis、Multimodal Communication、Complex Systemであるが、ここではそれぞれの科目の学習目的に注目して意識している

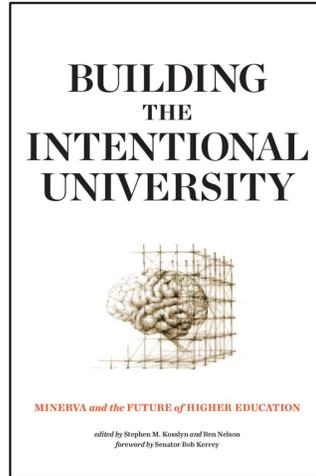
学生の詳細な学習データとプロジェクト実績に基づくキャリア構築支援

学生を募集したい企業などに対するインターンの設計支援

学生の個人プロジェクトの広報支援・信用付与

メディア・トレーニング

ご参考)



『Building the intentional university –Minerva and the future of higher education』
Nelson, Kosslyn, 2017, MIT Press



『世界のエリートが今一番入りたい大学 ミネルバ』
山本, 2018, ダイヤモンド社